

非行犯罪臨床と地域社会

—地域社会における非行犯罪の抑止や立ち直り支援—

非行犯罪臨床においては、非行や犯罪を行った当事者に対する種々の働きかけが、社会内処遇として、あるいは施設内処遇として行われていますが、非行や犯罪を行った人たちが生きていく場は社会内であり、「居場所と出番」という言葉があるとおり、地域社会の中に本人が安心して過ごせる居場所や、生き生きと活動できる出番を作っていくことが欠かせません。また、地域社会で本人が健全な青少年あるいは社会人として生きていくためには、彼らを受け入れ支える家族や職場などの身近な人たちに、非行や犯罪に至った事情を理解してもらうとともに、受け入れ支えてくれる人たちが疲弊しないようにエンパワーメントすることも大切です。さらに、地域社会における再犯再非行防止に欠かせないのが、支援する機関も含めたネットワーク作りです。多機関連携の大切さは言うまでもありませんが、真に有効な連携の在り方について掘り下げて考える必要があります。そこで、第6回研修会では、これらの課題について、非行犯罪臨床の現場の実践に犯罪心理学の知見はどのような貢献ができるのか、例えば、本人についてのアセスメントを、本人を支える周囲にいかに関与共有するのか、本人を受け入れる環境についてもアセスメントし、それをいかにネットワーク作りに生かしていくかなどの切り口から、地域社会における非行犯罪の抑止や立ち直り支援について考えたいと思います。会員の皆様の積極的なご参加をお待ちしています。

日時

2024年 6月29日 (土) 10:00~17:00

内容

第1部 **基調講演** 小長井 賀與(信州大学)

第2部 **シンポジウム**

話題提供 桑原 行恵 (府中刑務所)

話題提供 岸 恵子 (千葉県地域生活定着支援センター)

話題提供 田中 かおり(東京少年鑑別所)

司 会 吉村 雅世 (東京保護観察所)

会場

日本女子大学 桜楓2号館ホール (東京都文京区目白台1-16-7)

参加費

2,000円

定員

90名 ※ 定員に達し次第、受付を締め切らせていただきます。

申込

【注意】ご参加は、本学会の会員に限ります。また、事前のお申込みが必要です。お申込みは、日本犯罪心理学会のHPから行えます。所定のフォームに必要事項を入力の上、送信してください。申込期間は4月15日(月)~5月31日(金)です。本研修会の詳細は、<https://www.jacpsy.jp/training/> を御覧ください。

※ 本研修会は、臨床心理士研修ポイントを取得できる対象です。

(日本臨床心理士資格認定協会が認める関連学会での諸活動に該当)



お問合せ

本研修会に関するお問合せは hanshin_kensyu@aol.jp まで